

令和3年度資金の保管状況及び運用実績について

宝塚市では、安全かつ確実な方法で資金を効率的に保管、運用するため、「宝塚市公金管理基準」などにに基づき、資金運用をしています。

内部統制の観点から、運用実績を毎年公表し、情報公開に努めていきます。

令和3年度における歳計現金等（※1）及び基金（※2）の運用実績は、次のとおりです。

1 歳計現金等

歳計現金等の毎月末の残高の状況は、表1のとおりです。

なお、歳計現金には、繰替運用（※3）を含みます。

この金額は、毎月実施する例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

表1 歳計現金等の毎月末残高

区分		歳計現金（円）	歳入歳出外現金（円）	合計（円）
月				
令和3年	4月末	1,295,478,033	507,122,029	1,802,600,062
	5月末	4,582,122,913	2,282,197,726	6,864,320,639
	6月末	3,815,925,853	3,399,390,847	7,215,316,700
	7月末	3,688,390,660	3,804,883,107	7,493,273,767
	8月末	4,208,203,723	2,393,741,593	6,601,945,316
	9月末	2,978,242,271	2,900,225,274	5,878,467,545
	10月末	236,920,207	2,356,505,367	2,593,425,574
	11月末	1,871,021,751	2,948,003,289	4,819,025,040
	12月末	2,907,798,126	2,277,918,939	5,185,717,065
令和4年	1月末	1,680,324,740	2,493,038,438	4,173,363,178
	2月末	2,174,258,653	2,626,289,162	4,800,547,815
	3月末	7,979,817,743	2,352,278,232	10,332,095,975

2 歳計現金等の運用実績

歳計現金等については、収入及び支出の見込額の把握に努め、余裕資金が生じる場合は、安全性や流動性を確保しながら運用をしています。

歳計現金等の運用実績は、表2のとおりです。

表2 歳計現金等の運用実績

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
平均残高 (円)	2,613,311,938	7,554,597,402	5,646,674,890
年間利子額 (円)	289,976	412,894	274,267
運用利回り (%)	0.011	0.005	0.005

平均残高…4月から翌年3月までの各月末残高の平均

運用利回り…年間利子額÷平均残高×100 (%)

3 基金

基金の毎月末の残高の状況は、表3のとおりです。

この金額は、毎月実施する例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

表3 基金の毎月末残高

月 \ 区分	基金残高 (円)
令和3年 4月末	13,335,790,770
5月末	14,184,570,331
6月末	14,184,581,331
7月末	14,184,586,331
8月末	14,184,592,331
9月末	14,184,595,331
10月末	14,184,278,271
11月末	14,183,900,571
12月末	14,183,916,571
令和4年 1月末	14,180,640,281
2月末	14,180,663,281
3月末	14,177,329,233

4 基金の運用実績

基金については、安全性や流動性を確保しながら、基金の取崩しや積立てを考慮したうえで、効率的な運用をしています。

基金の運用実績は、表4のとおりです。

表4 基金の運用実績

年度 区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度（※4）
平均残高（円）	12,896,577,203	13,295,555,653	14,112,453,719
年間利子額（円）	3,664,368	3,622,202	3,865,520
運用利回り（％）	0.028	0.027	0.027

平均残高…4月から翌年3月までの各月末残高の平均

運用利回り…年間利子額÷平均残高×100（％）

（用語説明）

- ※1 歳計現金等とは、市の一般会計と特別会計に予算計上された歳入・歳出に属する現金で、日々の支払いのために準備している現金（「歳計現金」といいます。）と市の所有に属さない現金で、法令等に基づき一時的に預かる市県民税や職員の源泉所得税等の現金（「歳入歳出外現金」といいます。）のことであります。
- ※2 基金には、条例の定めるところにより、特定の目的のために定額の資金を運用するもののほか、特定の目的のために積み立てるものがあります。
- ※3 繰替運用とは、歳計現金に不足が生じる場合に、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。
- ※4 基金の運用について、令和3年度から、債券による運用を開始しました。今後、金融機関の大口定期預金よりも利回りが良い債券運用に注力していきます。